

科目名		サブタイトル		担当教員	配置学年	単位数
中国語B		中国語基礎コミュニケーション		山崎 哲	2年次前期	1
科目区分	基礎	キーワード	助動詞、補語、数字（年月日、時刻）などを使った中国語			
ディプロマポリシーとの対応		1. 時代や社会の要請に対応できる能力				
カリキュラムポリシーとの対応		1. 一般教養および専門的（交通・観光関係）な知識と実践力とを総合的に身につける				
事前に受講するとよい科目		中国語A				
講義の目的	中国語Aに続けて、みなさんが将来業務において活かせるような中国語スキルの基礎固めを行います。さまざまな場面で使用される中国語の表現を学び、中国語での基礎コミュニケーション力を養います。また、これまで学んだ事項を踏まえ、中国語基礎文法の完成を行います。同時に、中国社会や日中異文化コミュニケーションについて理解を深めていくことも目的にします。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ① 基礎的なコミュニケーション中国語を聞き取ることができ、発話できるようになる。 ② 基礎的な文法構造や単語で書かれた中国語の文章を読めて書けるようになる。 ③ 辞書や参考書を使って自ら中国語の学習を継続していける力を涵養する。 ④ 中国語検定準4級に合格できる中国語力を養う。 					
講義内容	テキストに沿って、テキスト文の朗読、文法の説明と解説、会話練習などを行います。適宜、映像や写真なども使い、中国の歴史・文化や人々の生活に関心を持つ機会もつくりたいと考えています。また、交通・観光場面で用いられる中国語も紹介します。					
講義スケジュール		タイトル	内容			
	第1講	ガイダンス	中国語Aの復習、年月日・曜日、他			
	第2講	第十一課：家庭訪問	文法（助動詞の“要”、主述語文、比較の言い方、他）			
	第3講	第十二課：買い物	文法（助動詞“可以”、動詞の重ね型、方向補語、他）			
	第4講	第十三課：道案内	文法（“怎么”、前置詞の“离”“从”“往”、“得”、他）			
	第5講	第十四課：中秋節	文法（年月日・曜日の言い方、“快～了”、“了”、他）			
	第6講	第十一～十四課のまとめ	重要文法事項の復習			
	第7講	第十五課：食事の前は	文法（時刻の言い方、時間量の言い方、禁止表現“别”他）			
	第8講	第十六課：手作り料理	文法（助動詞の“会”、結果補語、“不”と“没”、他）			
	第9講	第十七課：カニの季節	文法（助動詞“能”、前置詞“在”、“再”、可能補語、他）			
	第10講	第十五～十七課のまとめ	重要文法事項の復習			
	第11講	第十八課：スキー場で	文法（様態補語と程度補語、前置詞の“用”、“一下”、他）			
	第12講	第十九課：おみやげ	文法（“有点儿”と“一点儿”、進行の表し方、“是～的”他）			
	第13講	第二十課：空港まで	文法（“把”構文、“被”構文、存現文、“祝”祈る言葉、他）			
	第14講	第十八～二十課のまとめ	重要文法事項の復習			
第15講	総まとめ	第十一～二十課までの重要事項の確認				
指導方法	テキストに沿って進めていきます。一回の授業のおおまかな流れとしては、前回の復習→その日のポイント解説→単語の確認→テキスト本文の読解と朗読→文法説明と解説→会話練習→まとめの順で進めます。適宜確認テストを行います。					
事前学習	テキストの予習を行なってください。具体的には、テキスト音声再生アプリ、または、Web ストリーミング音声/映像を使って次回学習内容の概要を把握してください。（学習の目安：1時間）					
事後学習	単語の確認、テキスト本文の朗読、授業で扱った中国語作文問題をもう一度解く、などを通してテキストの復習をしてください。（学習の目安：1時間）					
成績評価方法	本試験（筆記試験）（60%）、平常点（小テスト）（20%）、平常点（授業内課題）（20%）					
テキスト	相原茂・陳淑梅・飯田敦子著『日中いぶこみ交差点』朝日出版社、2017 (ISBN:978-4-255-45286-9) （※エッセンシャル版(青色の表紙)ではなく、通常版(緑色の表紙)を入手してください）					
参考書籍	授業内で紹介します。					
特記事項	受講生の状況や希望によって授業進度などを調整する場合があります。					